

# はち便り

1月号

みなさん、こんにちは。先日から各都道府県で緊急事態宣言が発出されており、新型コロナウイルス感染症の猛威を感じているかと思います。特に中3生は受験直前期ですので、人一倍体調には注意してください。

さて、中3生の中には、入試において作文・小論文が課される高校を受験する方も多数いらっしゃいますね。今回はその作文・小論文を書く際に意識すべきことを簡単にお伝えします。中1・中2生の方にも役立つ話なので、文章を書く際には是非参考にしてください。



## 作文・小論文のポイント



### ①課題文や資料からわかることをまとめる

多くの場合、課題文や資料が提示され、それをふまえて文章を書く形式の出題がなされます。まずはそこからわかることをメモ書き程度で構わないのでまとめましょう。

### ②全体の構成を考える（最重要！）

作文・小論文において最も重要なパートです！**制限時間の半分はこれに費やしても構いません。**指定字数や段落数の条件を確認した上で、各段落に書くことを箇条書きなどでまとめます。段落数の指定がない場合は、「1段落あたり150~200字程度」が目安です。

大事なのは、ここで各段落の構成（例：「課題文や資料からわかること」「自分の意見」「具体例や体験」「まとめ」）をしっかり固めておくこと。特に「具体例や体験」を書く場合、それが「自分の意見」と結びつくものになっているかを必ず確認しましょう。

### ③1文は長くなり過ぎないように

構成が固まったら、あとはそれに沿ってひたすら書くのみです。この際に注意してほしいのは1文の長さです。1文が長すぎると、読み手に伝わりにくい文になってしまいます。どんなに長くても「1文は80字以内」にしましょう。ちなみにこのはちよりも「1文80字以内」で作っています。

### ④最後に見直しをする

終了5分前には文章を書き終えるようにして、最後に必ず**見直し**をしましょう。誤字・脱字や表現におかしなところがあれば修正してください。

### ⑤完成した作文・小論文は誰かに読んでもらう

入試本番では無理ですが、練習で書いた場合は必ず誰かに読んでもらいましょう。可能であれば学校や塾の先生に見てもらい、フィードバックをもらうと効果的です。

上記の点をふまえるだけで、確実に良い文章が書けるようになります。今からでもできることばかりなので、作文・小論文を書く際は常に意識するようにしましょう！

# 1月のスケジュール

日	曜	受付	授業	講演会など
1	金	休室	休室	
2	土	10~17		
3	日	10~17		
4	月	10~17		
5	火	10~17	冬期講習確認テスト	
6	水	10~17		
7	木	14~21	単科ゼミ③	
8	金	14~21	単科ゼミ③	
9	土	14~21		
10	日	10~17	1月度①	
11	月	14~21		
12	火	休室		
13	水	14~21		
14	木	14~21		
15	金	14~21		
16	土	14~21		
17	日	10~17	1月度②	
18	月	14~21		
19	火	休室		
20	水	14~21		
21	木	14~21		
22	金	14~21		
23	土	14~21		
24	日	10~17	1月度③	
25	月	14~21		
26	火	休室		
27	水	14~21		
28	木	14~21		
29	金	14~21		
30	土	14~21		
31	日	10~17	2月度①	月例テスト(1V・2V)